

御嶽山火山防災協議会 名古屋大学御嶽山火山研究施設から登山者アンケート調査の報告

研究施設の3つの使命

- 一、御嶽山火山活動評価力の向上
- 二、地域主体の防災力向上に対する支援
- 三、火山防災人材育成の支援と火山に関する知見の普及

研究施設構成：山岡耕春（施設長）、金幸隆、竹脇 聡



2022年8月27日 オープン
御嶽山ビジターセンター

開館時間：やま・夏季期間、さと・年中無休
所 管：やま（長野県）、さと（木曾町）
目 的：災害伝承、火山防災、地域振興、
観光振興

特 徴：
・御嶽山火山マイスターの活動拠点
・名古屋大学御嶽山火山研究施設

1

報 告 事 項： 御嶽火山に対する黒沢口登山者の防災の意識と知識 2022.9.17と2023.8.26の登山者避難訓練でのアンケート調査から

木曾町が計画（研究施設は協力）：指示書と対象エリア

登山者の皆様

実施主体：木曾町役場（三日支持）

ご協力ください！

御嶽山 登山者参加型避難訓練を行います
※御嶽山は今も活動を続ける活火山です

訓練日時：本日（8月26日）午後12時20分頃
想 定：前回（2014年）と同じ火口において、
同規模の噴火が発生
方 法：サイレンが鳴りましたら、**避難行動**に
ご協力ください（下記をご覧ください）

安全 第一！

「慌てない、走らない、まず落ち着き考える」

高所訓練のため、安全を最優先し下記の避難行動を取ってみましょう

行動① 頭部を守り！（ヘルメット、リュック等で）

行動② 避難施設を探す（シェルター、山小屋等）

行動③ 近くにシェルターと山小屋があったら
歩いて移動！

行動④ 避難施設が無ければ（既に人で一杯なら）
頭部を守り、その場に留まる

行動⑤ 訓練が終了したら、
○自分がいる場所を確認しましょう。
○噴火した時、自分が何をできるか考えて
みましょう。

下山後、アンケートにご協力ください（回答者にノベルティプレゼント）

避難も必ずご協力ください



2

避難訓練

2022.9.17

剣ヶ峰の
頂上付近



火口周辺
登山道



山小屋



2023.8.26

御嶽神社
頂上奥社



3

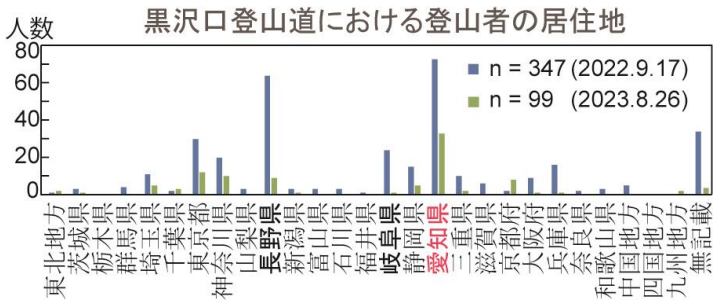
黒沢口登山道における登山者の居住地

2022年9月17日
n = 347人 (%)

2023年8月26日
n = 99人 (%)

順位	居住地	2022.9.17 (%)	2023.8.26 (%)
1位	愛知県	21.0	33.3
2位	長野県	18.4	12.1
3位	東京都	8.6	9.1
4位	岐阜県	6.9	9.1

- ・ **黒沢口の登山者数**
2022.9.17 : 約640人
2023.8.26 : 約198人
→ '23年に八丁ダルミの規制解除
・ 王滝口の登山者数→増加
・ 黒沢口の登山者数→減少
- ・ **都道府県別の登山者数**
・ 最多は愛知県
- ・ **地方別の登山者数**
・ 東海4県 > 関東 > 甲信越
↓ ↓ ↓
長野県近隣の都市圏から訪れる登山者が多い

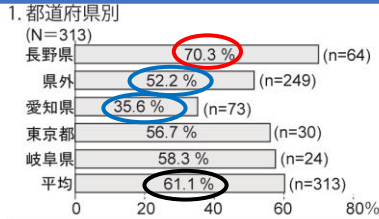


4

ヘルメットの持参率

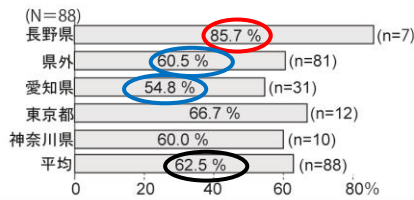
2022年度

a) データ取得日：2022.9.17



2023年度

b) データ取得日：2023.8.26



都道府県別の傾向

- 長野県：高い
- 県外：低い
- 愛知県：最も低い
- 岐阜県：平均

登山回数別の傾向

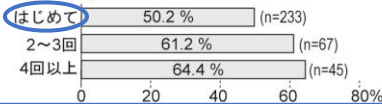
- 初めて：低い
- 経験者：増加
- 伸び率に鈍化・減少

年齢層別の傾向

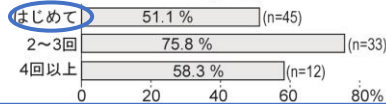
- 去年：年齢による差なし
ばらつきが小さい
約54%
- 今年：50代の持参率高い
- ※20・30代：母数足りない

2. 御嶽山の登山回数別

(N=345)

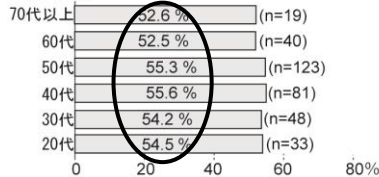


(N=90)

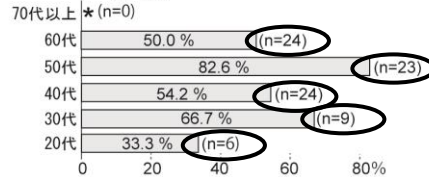


3. 年齢層別

(N=344)



(N=86)



5

登山者の意識の現状について (現状)

Q 登山者が「いつ」火山活動の状況を調べたのか

	回答数	%	
1	登山計画中	48	52.7
2	登山開始前	33	36.2
3	登山中	3	3.3
4	調べなかった	7	8.8
		n 91	100.0

(2023.8.26実施)

6

登山者が求めている火山に関する情報について（要望）

Q 火山の状況が変化した場合、
あなたは、どのタイミングで情報を知りたいですか。

	回答数	%
1. 噴火警戒レベルの引上げの基準に達したら、知りたい	35	43.8
2. 噴火警戒レベルの引上げの基準に達してなくても、 少しでも早く知りたい	43	53.8
3. 情報は必要ない	0	0.0
4. わからない	2	2.5

(2023.8.26実施)

課題：少しでも早く情報を提供できる仕組み

7

来年度以降の研究施設の計画案（予定）

アンケート調査に基づいた登山者・関係者の知識・意識の現状把握
および登山者・関係者に役立つ火山に関する情報の理解



8